

## 臨床研究の実施に関する情報公開

静岡県立総合病院では、臨床研究倫理委員会の承認を得て、下記の臨床研究を実施します。関係各位の御理解と御協力をお願い申し上げます。

研究の拒否	患者さん又は患者さんの代理の方が、この研究のために試料・情報が使用されることにご了承いただけない場合は、問合せ先までご連絡ください。
研究課題名	胆管切除を伴う肝胆膵腫瘍手術における術前胆管炎の周術期管理方法が術後感染性合併症に与える影響に関する前向き観察研究
研究機関名	静岡県立総合病院
研究責任者	徳田 智史
研究期間	2021年7月～2025年6月
対象者	2021年7月から2024年6月までに肝胆道系悪性腫瘍に対する診断または減黄(黄疸に対する治療)目的の内視鏡的治療を施行後に手術を施行する患者さんを対象にしています。
当該研究の意義・目的	肝胆道系悪性疾患の術後は感染が原因の合併症が発生しやすく、抗生剤治療が必要となります。患者さん個人個人で効果のある抗生剤は異なると考えられ、術前に胆管炎を発症している方と胆管炎を発症していない方でも術後の感染性合併症には影響があると推測されます。そこで、今回は術前の胆管炎発症の有無および胆管炎発症時の検査結果を元に周術期の抗生剤を選択することが有効であるかを検討します。
方法および研究で利用する試料・情報について	対象となる患者さんの診療録(カルテ)から次の情報を調査します。 <ul style="list-style-type: none"><li>・背景因子(年齢、性別など)</li><li>・臨床データ(画像検査結果、病理検査結果など)</li><li>・転帰(予後や再発の有無など)</li></ul>
個人情報の開示に係る手続き	個人情報の開示に係る手続きは、下記の問合せ先にご相談ください。
資料の閲覧について	あなたからのご要望があれば、この研究において開示が可能であると考えられる範囲内で、この研究の計画や方法についての資料をご覧いただくことができます。
問合せ先	◆その他、この研究に関するお問い合わせ、ご意見等ございましたら下記へご連絡ください。 静岡県立総合病院 徳田 智史 代表 054-247-6111